

# 2013年度の活動について

就労移行支援タウンミーティング

第2次在り方研に向けたアンケート調査

2014年3月7日

全国就労移行支援事業所連絡協議会事務局

# 2013年度の活動の位置づけ

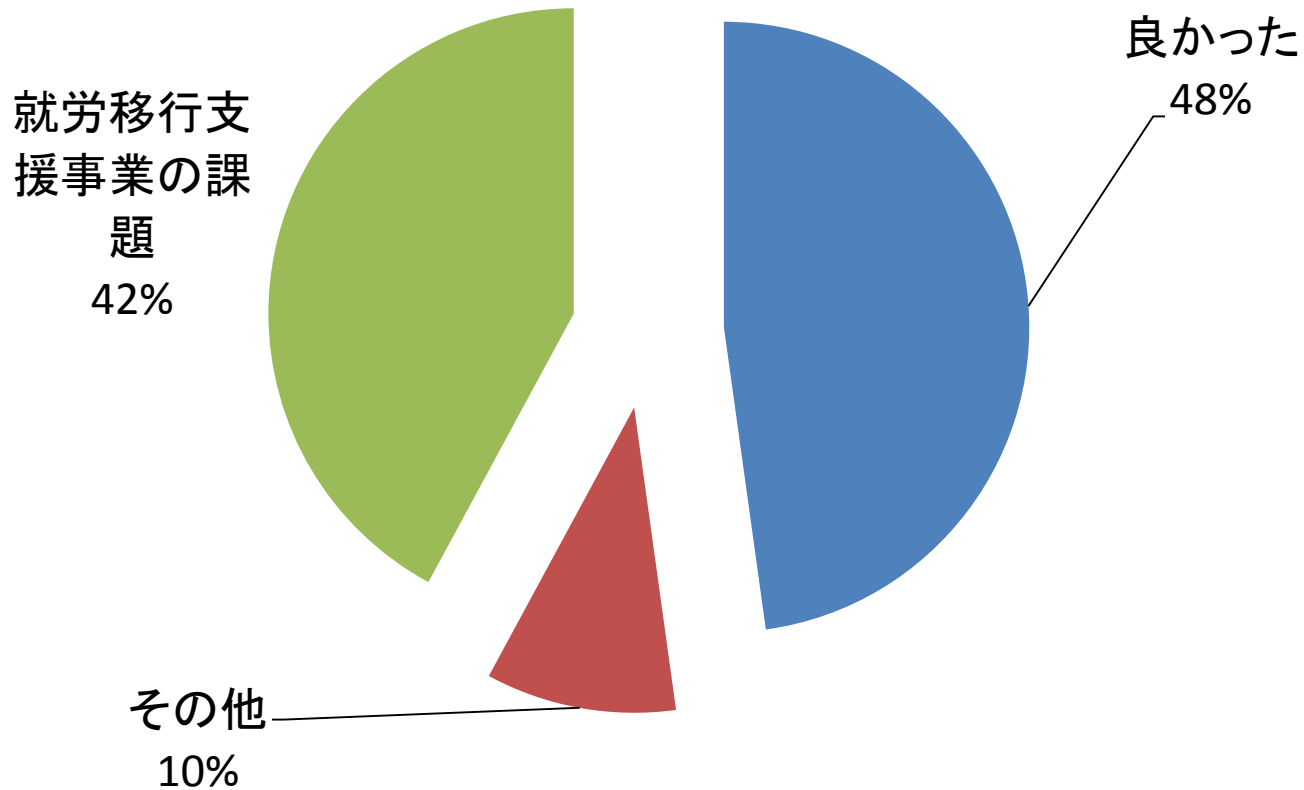
- 2016(平成28)年度の障害者総合支援法見直しに向けて、就労移行支援事業の重要性を全国的に訴え、就労移行支援に真剣に取り組んでいる会員を増やしていく
- 2015(平成27)年度の障害福祉サービスの報酬改定に向けた第一段階として、就労移行支援事業が抱える課題を浮き彫りにする
- 厚生労働省への働きかけや各種会議への参加を通じ、政策・制度・予算に対して障害者の一般就労支援という観点を盛り込んでいく

# ①就労移行支援タウンミーティング

- 目的
  - 目的: 就労移行支援事業の成果と課題について全国  
の状況を把握し、共通認識を持つ
- 内容
  - 厚生労働省による行政説明と推進事業報告
  - 地域の就労移行支援実践報告
  - 意見交換会
- 延べ382名参加(一般参加者の延べ数331名)
  - 福岡157名(一般参加者135名)
  - 大阪90名(一般参加者78名)
  - 東京135名(一般参加者118名)

# 事後アンケートの自由筆記部分

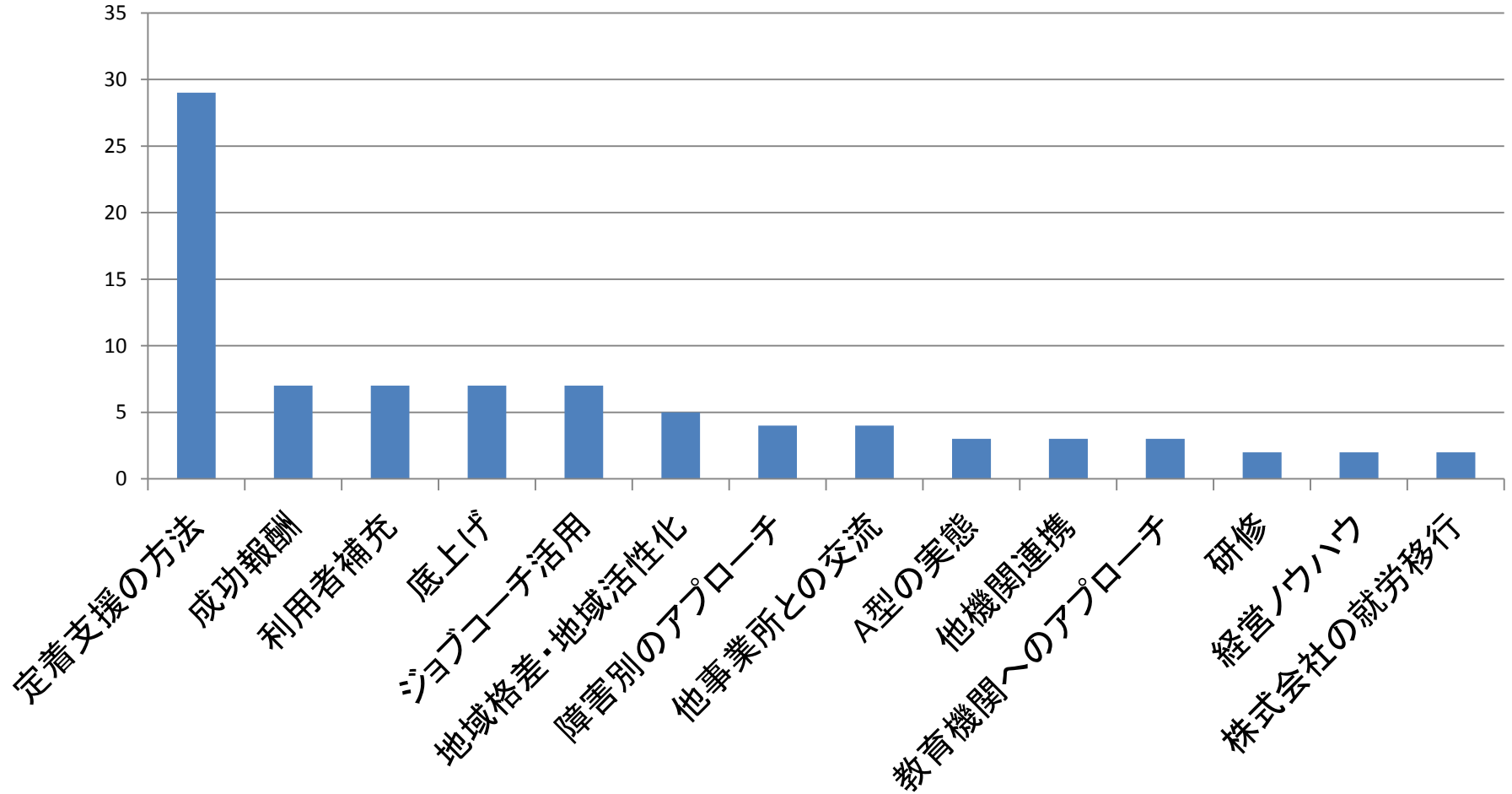
N=228(重複回答あり)



# 「良かった」の内容

- 課題を共有でき、励みになった
- 行政からの最新情報を得ることができ、勉強になった
- 他の事業所の実践を聞くことができ、勉強になった
- 支援のヒントがもらえた
- 意見交換会がよかった

# 課題として示されていること



## ②第2次在り方研に向けたアンケート

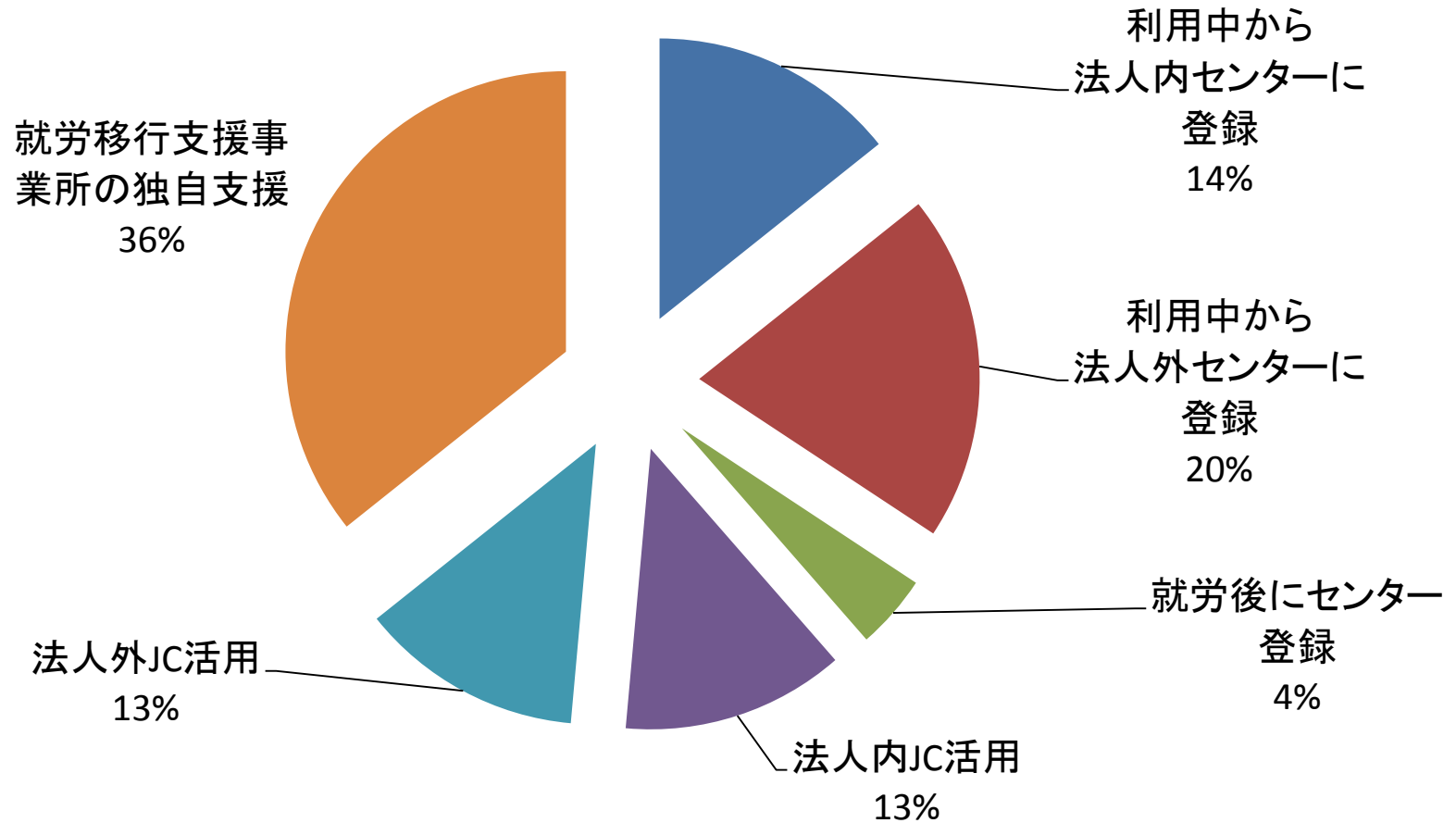
- 実施期間：2013年10月3日～10月10日
- ナカポツセンターやジョブコーチとの連携について

| 地域    | 回答事業所数 | 2012年度の一般就労者数(人)※1 | 同一法人が運営する支援センター数※2 | 事業所におけるジョブコーチ配置数 |
|-------|--------|--------------------|--------------------|------------------|
| 北海道   | 4      | 40                 | 1                  | 4                |
| 関東    | 12     | 140                | 17                 | 12               |
| 中部・北陸 | 3      | 15                 | 0                  | 3                |
| 近畿    | 5      | 58                 | 1                  | 5                |
| 中国・四国 | 3      | 30                 | 1                  | 3                |
| 九州    | 4      | 31                 | 0                  | 0                |
| 合計    | 31     | 314                | 20                 | 27               |

※1. 就労継続支援事業A型への就労者は除く。

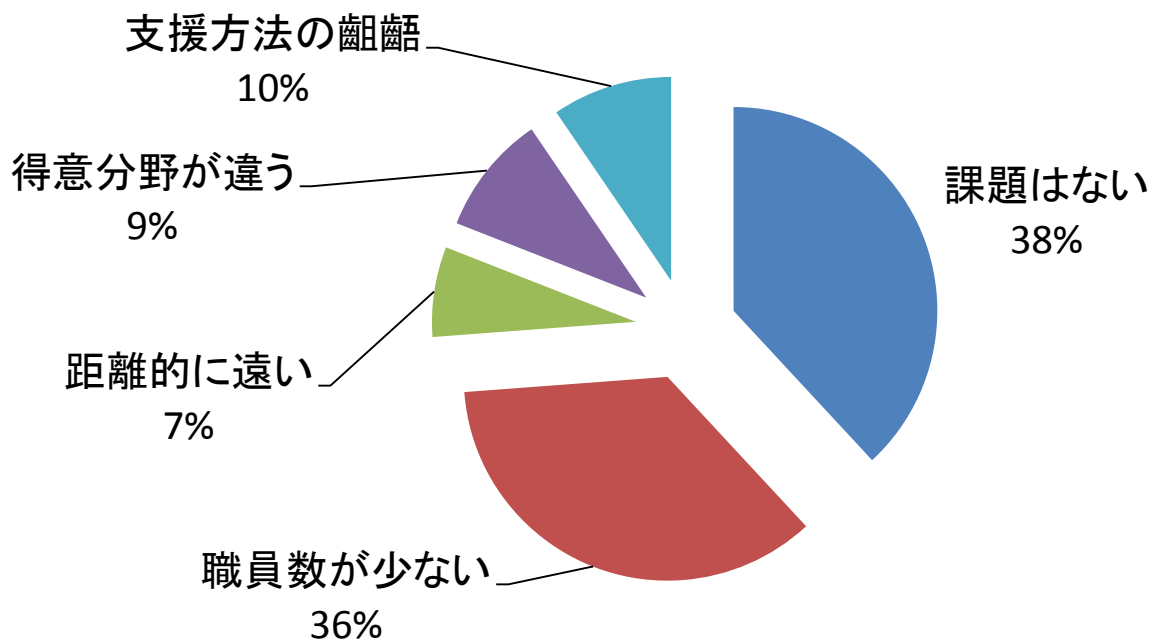
※2. 障害者就業・生活支援センター及び自治体独自の支援センター数

# 連携状況（複数回答）





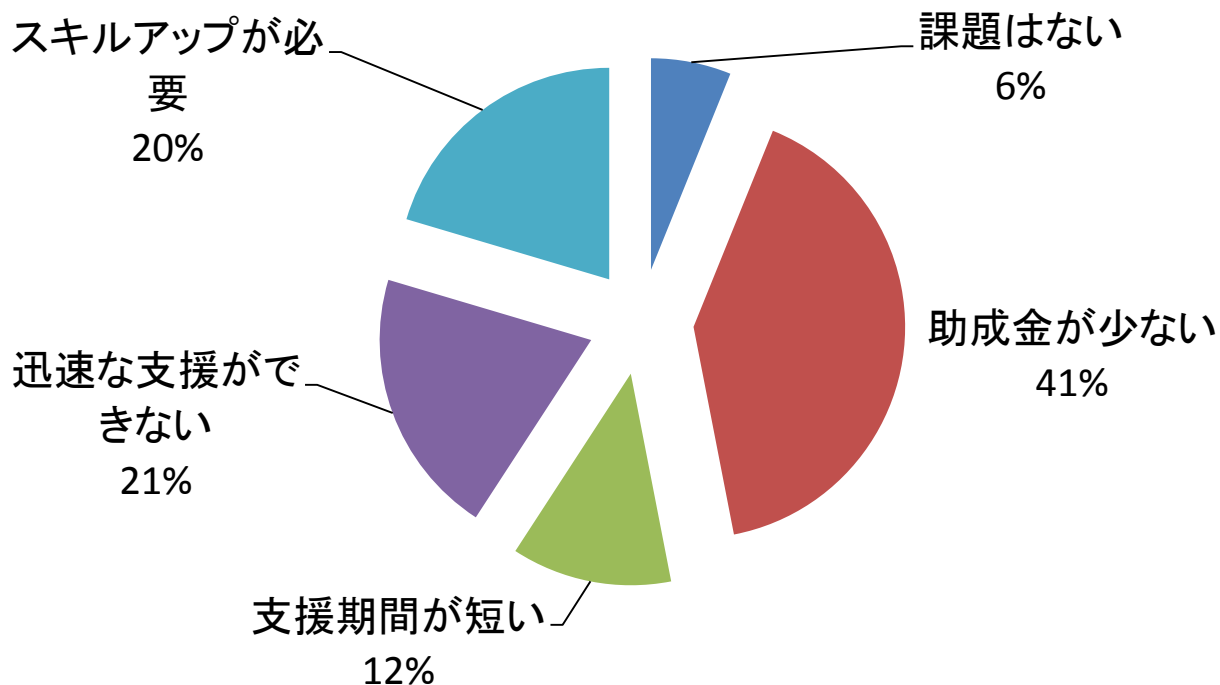
# ナカポツセンターとの連携の課題



役割分担の明確化: コーディネーターなのか、プレーヤーなのか

圏域(人口の多少、地理的広さ)に応じた職員配置やサブセンター

# ジョブコーチとの連携の課題



一般就労者に対する法人内第1号JCの活用状況: 62人 / 308人 = 20%  
(就労者総数314人のうち、6人は助成金対象とならない公的機関への就労)

第1号職場適応援助者助成金で賄える人件費率: 平均約39.2%  
(人件費の約60.8%は事業所の持ち出し)